



発行責任者：増村幸子 〒184-0004 小金井市本町 2-20-9-103
 編集者：村田雅英 ホームページ：http://ichigoe.org/ メール：info@ichigoe.org

総会 議長 武藤和義 理事 活動報告と計画

いちごえ会は7月1日、創設5年を終え6年目を迎えます。この5年で当事者・家族はお互いに助け合い、学び合い自然と仲間が増え、80余名になりました。高い志と使命感を持った役員や支援者に助けられ大きく成長することができました。皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

総会 議長 武藤和義 理事 活動報告と計画



- **働く**
 昨年は「高次脳機能障害者にカスタマイズした働き方を学ぼう」を6回シリーズで行いました。今期も在宅版ジョブコーチを続行し、さらに「当事者に合わせた仕事を作る」ために就職先、自営業、作業所などを開拓し、サポートします。
- **住む**
 親・介護者亡き後の取り組みを推進します。高次脳機能障害に理解のある支援施設に協力し、当事者が一人暮らしできる住居・施設の確保を目指し、勉強会を開きます。
- **行政報告**
 小金井市障がい福祉施策について
 藤井知文氏 自立生活支援課長
 障害のあるなしに関係なく自立し、ともに支え合いながら安心して暮らせる小金井市を実現します。

講演会 高次脳機能障害者と家族の支援 山口加代子氏 横浜市総合リハビリテーションセンター 臨床心理士

高次脳機能障害者は情報を取り込み照合・処理する事が上手くできないので、いら立ち落ち込みます。自分の状態に気づけないことが高次脳機能障害の症状の「病識の欠如」です。神経心理学的リハビリテーションとは自分を観察し自覚するお手伝いです。「困る人＝困っている人」を理解し、人格の問題ではなく脳機能の症状問題と考えて問題行動を減らすのがリハビリです。「それならできる！」という提案に「できた」という体験が「支えられている感」「信頼感」を生み、「良くなっていく自分」をご本人が意識できるようになります。



山口加代子先生は事例を挙げて分かりやすく説明されました。参加者は当事者・家族の他専門職の方が多く、質問票は13枚も。とても濃い内容の総会・講演会でした。

当事者と家族・医療・介護専門職の方々もその対応に悩んでいます。当事者の気持ちを理解し寄り添うことが大事です。

介護者の負担感の要因 適切な支援法をさぐる

介護負担感に関する研究の協力を求められました。研究する人 中央大学文学部緑川ゼミ学生 浜本加奈子さん



浜本加奈子さんは茶和会で協力を申し出た方を個別訪問し、プライバシー保護、傾聴方法、研究結果を学会や学術誌に発表すること、希望すれば個別の検査結果を報告することなどを丁寧に説明しました。誠実な対応に茶和会の参加者は信頼を寄せ、全面協力することを確認しました。7月18日傾聴訪問が開始されました。最初に浜本さんが傾聴を始めた動機を話し、ぎこちなかった雰囲気は自然に和やかになりました。介護者は当事者への思い、家族の悩みを語りました。約2時間の傾聴を終えるころにはすっかり打ち解け、気持ちが軽くなり次回の傾聴が楽しみです。高次脳機能障害者・家族への理解が進み、苦悩が少しでも軽くなることを願っています。

2017 パイロットウォーク 一緒に歩きませんか

パイロットインターナショナル日本ディストリクトは脳障害に悩む人々への支援と脳の大切さを訴え、1996年から「パイロットウォーク」を日本各地で開催しています。障害のある方々と一緒にウォークすることで、ともに歩める社会の実現を目指しておられ、いちごえ会も過去寄付を頂きました。参加者募集中です。お申込みは info@ichigoe.org



山野圭さん 詩の朗読 いにしえ一区公演

2017年5月6日 東京都民教会 ZHUMEI ダンス、テルミン演奏の後、山野圭さんが朗々として詩の朗読をされました。昔取った杵柄、さすがのパフォーマンスでした。俳優、舞台監督経験の持ち主です。ZHUMEI メソッドを学び歩行困難・ふらつきを軽減させ、これからは健康寿命を延ばしますと述べられました。



北多摩南部医療圏高次脳機能障害地域支援研修会 今、知ってほしい カスタマイズ就業

2017年7月23日 調布市総合福祉センター 講師：峯尾 舞先生 北原国際病院作業療法士 「カスタマイズ就労」を知らない方がほとんどでTKK役員をはじめ多くの方が熱心に受講しました。いちごえ会で昨年6回シリーズで学習したものを短く纏めた内容でした。

- < 事業所紹介 >
- ① 東京高次脳機能障害者支援ホーム (HIBDY.TOKYO)
 - ・退院前の自立性の評価・訓練と必要な資源の調整
 - ・不適応になった方の自立性の再構築
 - ・外出訓練と外出範囲の拡大
 - ・家族関係・家族の支援体制の整理
 - ・現在いちごえ会会員のKさんが利用中。
 - ② レジリエンス (就労移行支援事業所)
 - ・高次脳機能障害者に特化した事業所
 - ・「新たな福祉サービスや支援をクリエイトする」
 - ・症状に合わせて「45種類のプログラムを用意」
 - ・希望するプログラムを「個別選択・個別指導」
 - ・自分のペースで無理のないトレーニング
 - ・居場所づくりと、社会復帰を目指す
 - ③ 多摩市社協地域活動支援センター・アンド
 - ・高次脳機能障害者の相談
 - ・生活リハビリ
 - ・地域との連携
 - ・広報普及活動

< 事例検討会 > 失職を繰り返し、方向性が見えない、30歳代男性
 ・まじめな性格で独居・自立して生活している
 ・本人のやりたい仕事を探すこと
 ・家族の対応は？
 ・症状に合わせた（やや左半側空間無視）仕事の仕方を工夫（カスタマイズ就業）する
 ・ジョブコーチを活用する
 5～6人に分かれた班で病歴・各種検査を踏まえて活発な意見交換があり、各班からの代表者が纏めて発表しました。TKK理事長をはじめ当事者・家族、支援機関の方たちが集まり熱を帯びた研修会でした。いちごえ会から8名が参加しました。主催 東京慈恵会医科大学付属第3病院リハビリテーション科

上田敏先生による 相談会



このところ多くの相談希望者がおられ、年齢も問題も多彩でした。上田敏先生は丁寧かつ詳細に問診や検査をされ、真剣に対応され継続相談になります。



綿森淑子先生による YK さんの検査の様子

○ 4月22日、6月25日
KKさん
幼児の時に脳炎で、言葉はよいが、目は見えるのに何であるかが分からない、字が読めない状態（視覚失認）になりました。いくら言っても「生まれつきの障害」と決めつけられ、適切な教育が受けられませんでした。母親の献身的な努力により、9歳頃から読み書きができるようになり、15歳の今も進歩を続けています。臨床心理士でもある中大心理学教授緑川晶先生の詳しい検査を数回受ける予定です。

○ 6月27日
RKさん
自分の会社を持ち、システムエンジニア（SE）として活躍中の人生の真盛りに脳梗塞で倒れ、高次脳機能障害となった52歳。今は近くのB型福祉作業所で単純作業をして居り、過去のスキルを活かした仕事の可能性を探っています。国リハ厚生施設への通所を希望し、順番待ちの状態です。
ご自分の会社の整理、働けない悩みも、介護、子育て、生活設計と問題山積の奥様のご苦労も、察するに余りあります。

○ 12月13日、6月12日、7月13日
YKさん
ヨーロッパで、工作中的事故で頭を打ち、現地の病院に入院、意識不明のまま帰国した49歳。目撃証人がいない、保険がきかない、帰国旅費が膨大、など多くの問題がありました。
周囲の協力で証人が見つかり、当会安仁屋衣子顧問の紹介で、慈恵大第3病院・ケースワーカー八城さんのご尽力で解決できそうです。
上田敏先生の紹介でベテランの言語聴覚士・綿森淑子先生の詳しい検査を受けました。

レジリエンスアート展

2017年7月19日～25日 国立市公民館ロビー
レジリエンスは高次脳機能障害者に特化した就労移行支援事業所で、通所者が描いた絵、漫画、コラージュなどの作品が展示されていました。いちごえ会からは保手さん、重盛さん、村田さんが出品し素晴らしい出来栄えに感動しました。



重盛さん作品



保手さん作品



村田さん作品

交流会運営委員紹介

前回のお花見交流会が雨で中止になり残念でした。障がいの程度に関係なく、皆さんの意見をよく聞き、参加しやすい運営委員会にします。

運営委員長
武藤和義さん



芋煮会で腕を奮ったときの名(迷)コンビ。



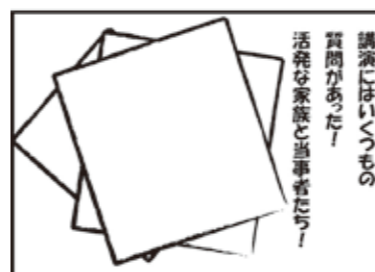
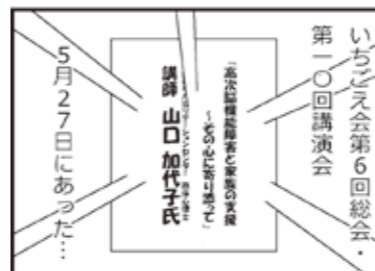
運営副委員長
山下真司さん

運営委員長を補佐しながら、皆さんの楽しい交流会にしましょう。

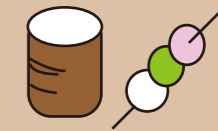
絵 しげもりきょうたさん

山口加代子さんのお話

まんが しげもりきょうた



茶和会



2017年6月3日開催

望月初美さんの司会で体験発表と近況報告をしました。ある当事者は倒れてから働くまでの経緯を振り返り、できていたことができなくなり落ち込んだが、日記を書くことで考え方を整理でき、立ち直ることが出来たと体験発表されました。

又ある方は発症後日が浅く作業所に通所中であり、奥様の子育て、介護、仕事のご苦労が偲ばれました。

介護者亡き後「住むところ」についてグループホームで一緒に暮らしたい、元気な内から準備しなければなど切実な意見がありました。家族が元気で明るく暮らすためにみんなで力を合わせ仲良く助け合うことを確認しました。

途中、中大の緑川晶先生とゼミ生浜本加奈子さんが来られました。介護する家族の負担感軽減に効果があると云われる「傾聴」を通じて、高次脳機能障害者家族の支援について卒業研究をするので協力を求められ、喜んで受けました。

私達はかねてから心理面で当事者と家族への理解と支援を求めており、高次脳機能障害に理解のある臨床心理士の誕生を待ち望んでいます。

参加者は15名、差し入れのお菓子やコーヒーを頂きながら、苦悩と喜びを分かち合い、和やかな茶和会でした。

増村幸子記

次回 2017年9月2日(土) 13:30より 増村マンション集会室にて



美味しいコーヒーもあるよ！
(藤原コーヒーマスター)

第14回 交流会

日時 2017年9月23日(祝)

14:00～17:00

場所 萌え木ホール

小金井市前原 3-33-25
商工会館3階

参加費 無料

どなたでもご参加下さい。

自己紹介と近況報告のあと
小グループに別れ
困りごとなどについて
フリートークの予定

お問い合わせ・申し込み先 いちごえ会
mail: info@ichigoe.org tel: 042-401-0051

お花見交流会が雨で中止になり残念でした。次回お待ちしてまーす。

